

令和6年度 第2回健康づくり支援部会 議事録

日 時：令和7年2月25日（火）19時30分～19時50分

場 所：市役所本庁舎10階 第4会議室

○会議次第

- 1 開会
- 2 議事
 - （1）前回会議の議事録（案）の確認
 - （2）令和7年度健康推進課関係予算（案）について
 - （3）その他
- 3 閉会

○出席委員

吉田一郎部会長、吉村典子副部会長、三品正則委員、金須俊雄委員、鳴海亮委員、川岸仁専門委員、酒井國夫専門委員、川田真裕美専門委員

○事務局

健康保険室	佐藤室長
健康保険室健康推進課	城岡課長補佐、前川主任

○会議録

○事務局

こんばんは。ただ今から、令和6年度第2回健康づくり支援部会を開会いたします。

本日は健康づくり支援部会、委員9名中、8名のご出席をいただいております、出席人数が委員の過半数に達していますことから、部会は成立しております。

それでは、これより議事の進行につきましては、吉田部会長にお願いいたします。

議事（1）

○部会長

それでは会議に入らせていただきます。最初に、(1) 前回の会議の議事録(案)の確認について、を議題といたします。この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定となっております。

議事録につきまして、ご質問やご意見があればお願いします。

（異議なし）

○部会長

質問等がなければ、議事録はこれで了承されました。

議事（２）

○部会長

次に、（２）令和７年度健康推進課関係予算（案）について、を議題といたします。
事務局から、説明願います。

○事務局

それでは、令和７年度の健康推進課関係予算（案）につきまして、説明させていただきます。資料は１～２になります。

資料１から説明させていただきます。令和７年度の健康推進課関係予算（案）であります。予算額と対前年度の増減額の推移を記載しております。

まず、表の右側に、令和７年度予算を記載しております。Ｂ欄につきましては、人事課所管の職員給与へ振替を行った、健康推進課会計年度任用職員の報酬等の予算となっております。左側の事業区分と、右側の令和７年度予算額につきましては、Ａ欄をご覧くださいと思います。

まず、上から、保健衛生総務費が、４億４千９３２万円、そのうち、主なものでは、保健衛生推進費７７９万７千円、公衆浴場対策費１千２００万円、看護師等養成機関確保対策費８千５７２万８千円、帯広厚生病院運営費補助事業費２億１千万円となっております。前年度と比較しての、増減の主なものとして、保健衛生推進費については、健康づくりガイド（こども編）の作製を健康づくりガイド（大人編）と同様に、業者へ印刷製本費として受託することで単価が下がり、減となっているものです。また、健康都市連合については、総会・大会参加に係る旅費の増加により、増となっているものです。なお、看護師等養成機関確保対策費、帯広厚生病院運営費補助事業費については従前より地域医療部会、妊婦・乳幼児健康診査費、母子保健相談指導費、心の発達支援事業費、食育推進事業費については、従前より児童育成部会で説明していることから当部会においては、予算額のみお示しすることとさせていただきます。

続きまして、夜間急病診療費は、２億２千６８８万３千円となっております。夜間急病診療費についても従前より地域医療部会で説明していることから当部会においては、予算額のみお示しすることとさせていただきます。

続きまして、予防費は、総額で６億５千２４０万２千円となっており、主なものといたしましては、がん検診・健康診査費１億５千２９１万８千円、予防接種費３億４千８７３万９千円、感染症予防費１億４千７３０万６千円、健康教育費２４５万４千円などとなっております。前年度と比較しての、増減の主なものとして、がん検診・健康診査費については、集団検診の検診単価が増加したことや、中学三年生を対象としているピロリ菌検査に関して、令和６年度までは学校教育課で計上していましたが、令和７年度からは健康推進課で予算計上し、受検率向上のため、一度の採尿で検査できるよう学校健診尿検査とピロリ菌検査を同時に行う方法に変更、また、二次検査や除菌治療を受けやすくするため、中学三年生から二年生への学年移行を行うため、今年度のみ２学年分の予算を計上したことにより、増となっているものです。予防接種費については、令和７年度から定期接種化される带状疱疹の予防接種に係る予算を新たに計上していることにより、増となっているものです。感染症予防費については、新型コロナワクチンの定期接種に係る予算を令和６年度は補正予算で計上しておりましたが、令和７年度は当初予算で計上していることなどにより、増となっているものです。

最後に、保健福祉センター費として、４千６０５万６千円を計上しております。こちらは、保健福祉セ

センターの管理運営に要する費用でございます。以上、総事業費は、A欄の歳出予算合計 13億7千46万1千円となります。

続きまして、資料2、「令和7年度 健康推進課関係事業の概要（案）」をご覧ください。こちらは、資料1の内訳となります。左側の、保健衛生総務費は、4億4千932万円で、医療体制の整備や医療の人材不足への対応のほか、公衆浴場対策、健康まつりや健康づくりのボランティアの養成、育成など市民の保健予防の推進のための予算となっております。

中央の、予防費は、6億5千240万2千円で、胃がん、肺がん、子宮がん、乳がん、大腸がんの5大がんの検診のほか、女性特有のがん対策事業として、乳がん月間における啓発のピンクリボンイン帯広、乳がん子宮がんキャラバン等での検診周知、各種健康診査、予防接種や感染症予防、結核予防など、疾病の予防、早期発見のための経費と、健康相談、訪問指導、歩数計機能付きアプリを活用した健康マイレージ事業や働き盛りの健康づくりを推進するためのスマートライフプロジェクトへの企業の登録などを含む健康教育の経費を計上しております。

右側の夜間急病診療費は、2億2千688万3千円で、休日や夜間における急病患者に対する診療体制を確保するため、初期救急を担う在宅当番医のほか、二次救急医療や休日歯科診療などの体制確保に必要な経費を計上しております。

右側下の保健福祉センター費は、4千605万6千円で、保健福祉センターの管理運営に要する費用を計上しております。

説明は以上でございます。

○部会長

ただいまの事務局説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

○委員

公衆浴場対策費とは、基本的には浴場組合に入っているところへ補助しているのか。

○事務局

公衆浴場対策費にはいくつか種類があり、組合に対して支援しているものと、ふれあい銭湯の日に利用者に支援しているものがある。

○委員

よその町から来られている人にも同様に扱っているが、そこは組合に任せているのか。

○事務局

まずは、年齢要件があり、65歳以上の方を対象としている。また、15歳以下に対しても無料開放している。厳密に市民かどうかまでは確認していない現状である。

○委員

厚生病院運営費補助事業費は、どういう経過から予算にあがっているのか。

○事務局

概要を申しますと、地域医療として、住民が安心・安全に暮らせるような観点より、1市18町村から救急救命や三次医療の高度医療の提供として補助をしている。

○委員

健康マイレージの普及率はどうなっているのか。

○事務局

普及率は出していないが、12月末現在で登録数は、5千人となっている。利用数は増えてきている。歩くことでポイントになり、頑張ることでインセンティブがあるため、歩くことに励みが出たという声を頂いている。課題としては、企業の協力のもとで成り立っているが、協賛が難しい現状もある。より励みになるような仕組みを作りたい。

○委員

健康教育は、大人になってからでは、難しさを感じている。そのため、早期の健康教育が大事と考えている。

○委員

登録はしたが、よくわからずやめてしまったという声もある。案内が、名刺サイズでは、高齢者には、見づらさもある。大きいものもあればよいのではないか。

○事務局

若い方にも対象にしたいという思いから、持って帰れるサイズということで、名刺サイズにした。逆に見づらいという声を聞いて、チラシもあるため、どういう割合で作成していくかなど検討していきたい。

議事（3）

○部会長

次に、(3) その他について、委員の皆様から何かありますか。

（特になし）

他になれば、事務局から何かありますか。

○事務局

今回の開催については、健康生活支援審議会の日程が決まりましたら、皆様にご案内いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○部会長

以上で予定されている議事は終了いたしました。本日は、これで閉会といたします。お疲れ様でした。